

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年11月17日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104050
法人名	有限会社 たすけあい鹿児島
事業所名	グループホーム 中山の里
所在地	鹿児島県鹿児島市上福元町稻次5933番地 (電話) 099-266-0003
自己評価作成日	平成22年10月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成22年11月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の個性、状況に合わせ個別にきめ細やかな真心介護に取り組んでいます。

看護師を配置、健康管理を強化しており入居者様が健康で長生きできるように日々の観察で24時間安心があります。

個別処遇習慣を設け入居者様の希望を取り入れ楽しみを持って生活できるように取り組んでいます。

緑に囲まれたのどかな場所で皆さんのが伸び伸び暮せる環境があります。

季節毎にバスで運動会（松元町運動公園）、花見（錦江湾公園・バラ、都市農業センター・慈眼寺公園他・桜）、そうめん流し（伊集院・花水木、谷山・川上そうめん流し）新鮮な海の幸を食べる等、東市来・蓬莱館での買い物など、楽しく美味しい事が計画・実行されています。

季節に合った旬の素材、調理方法、味付け等工夫をして、毎日美味しい食事を作り食べて頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 管理者・職員は、処遇会議の中で自由に話し合いを行い、共有を図りながら日々のケアの向上に取り組んでいる。

- 家族への声かけや細やかな報告がされており、信頼関係ができている。

- 町内会に加入し地域行事への参加や高校生の実習の受け入れ・保育園児との交流・ボランティアの受け入れ等を行い、地域との交流を図られている。また、近隣との災害時の協力体制もできている。

- 個別処遇を大切にし、利用者の希望や意向に沿ったケアを行っている。

- 日常的に外出支援のほかに、外食や花見・水族館・物産館等に出かけ、利用者の楽しみになっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	○毎朝の申し送り時に職員全員で唱和し日々新たな気持ちで利用者様に向き合っている。 ○管理者職員は力を合わせ利用者の自立支援に取り組んでいる	管理者・職員は、事業所独自の理念を作り上げて、廊下やリビング等に理念を掲示している。朝の申し送り時に理念を唱和し、日々新たな気持ちでケアの実践につなげている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らしつづけられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	○高校生の実習や保育園児との交流、ボランティアの受け入れ、園での行事などに参加していただき地域の方と交流している。	町内会に加入し、清掃活動や夏のラジオ体操に参加したり、ホームの夏祭りには近隣住民も参加している。高校生の実習の受け入れ、保育園児との交流、ボランティアの受け入れ等も行なっている。また、散歩時に挨拶を交わしたり、日常的にも交流を行なっている。
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	○事業所は地域の高齢者を把握しており定期的に挨拶や学習の機会を儲けている【学識経験者を招き絵画教室を開いている】困り事の相談にも乗っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<ul style="list-style-type: none"> ○運営推進会議を活かした取り組み <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○偶数月第3金曜日14時～運営推進会議開催利用者、ご家族、民生委員、町内会長、包括支援センター他の意見など地域行事の情報交換の場となり和やかな会議と成っております。 	<p>偶数月に推進会議を開催し、ホームでの取り組みや状況等の報告を行なっている。また、参加者から地域行事や地域の高齢者の情報や意見が出され、話し合いを行いサービスの向上に活かしている。</p>	
5	4	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村との連携 <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○介護相談員いつでも受け入れます、利用者の意見は真摯に受け止めケアに活かしている。 ○市高齢者福祉課、福祉事務所等連携を取り居宅療養管理指導など取得を支援している。 	<p>行政の窓口に出かけて行き、事業所の状況を話したり、毎月のホーム便りを届けている。介護相談員の受け入れも行っている。</p>	
6	5	<ul style="list-style-type: none"> ○身体拘束をしないケアの実践 <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○職員は研修会に参加して拘束した場合の苦痛や弊害を学んでおり居室や日中の玄関に鍵をかけないケアを実施している。 ○外出傾向に有る利用者には職員が見守り話し相手になったり一緒に散歩に出かけたりドライブに行ったりしている。 	<p>身体拘束廃止委員会を設置し、毎月研修等を開催している。職員は、日中玄関の施錠をせずに見守りを行い、外出時は一緒に出かけたりして、身体拘束をしないケアに努めている。</p>	
7		<ul style="list-style-type: none"> ○虐待の防止の徹底 <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○職員は外部内部研修で高齢者虐待防止法を学び虐待が起きないようにしている、身体的な事のみでなく日常の言葉【言葉の暴力】使いにも職員同士でお互いに注意しています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>○利用者の権利、家族の権利やグループホームの倫理要綱については見やすい場所に掲示しており勉強会等で話している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>○契約前はご家族ご本人に見学がてら来所頂き不安や疑問に思われること等伺い出来ること出来無いことなど説明し理解納得を図っています。契約書も充分な説明と、納得出来るよう持ち帰り良く検討して頂いて居る。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>○意見箱の設置、毎月の便りに事故報告、出来事など掲載して細部にわたり報告している。 ○運営推進会議など外部にも報告ご家族の意見入居者の意見なども運営に反映している。</p>	<p>家族の訪問時には、声かけを行い、遠方の家族には、電話で意見等を聞くようにしている。 「できることは、なるべく自分でさせてもらいたい」等の意見や要望を、日々のケア・運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>○毎月の職員会議・処遇会議や勉強会等の場での自由な意見や提案を聞き業務改善に向けて努力反映出来ている。</p>	<p>毎月、職員会議・処遇会議を開催している。会議の中で出された日常のケアに関する意見や要望を聞きながら、運営に反映させている。職員アンケートも毎年行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>○代表者は管理者、職員個々の勤務実績努力を把握しておりやりがいや向上心を持って働くよう評価している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>○職員の資格取得などは勤務調整して研修を受ける機会を作り参加出来る。</p> <p>○年間計画の中に研修が組み込まれ内外研修に参加して学習している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>○谷山地区は年間を通して研修の企画が有り、また複数事業所連携事業などを組み入れお互いに交流があり学ぶ機会が有る。学習のみでなくレクレーション等にも参加して楽しく過ごしている。</p>		

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>○相談申し込みの時点でご家族、本人様と逢い何を求め困っていること等を伺い不安の訴えには出来るだけ納得いくように対応安心できるように努めている。</p>		
----	--	--	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>○見学来訪時にはご家族の求めている事不安日常生活の困りごとなどゆっくり話を伺い受け止めて居ます。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>○相談来訪時は切羽詰まった状況の時が多い、空きがない場合は隣のデイサービスの紹介等を行い情報提供に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>○年間を通じ様々な行事などあり行事食など一緒に作り行事の由来などを教えて頂きながら家族に代われないが気持ちは家族のつもりで接して居ます。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>○ご家族は入居者の生活に欠かせない大切なメンバーで有ることを常々伝えている。面会時の素晴らしい笑顔と安堵の表情に職員は安心します。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>○入居前のお友達等が遊びに来られたり外出と一緒にしたり、自由に出かけることを支援しています。</p>	<p>元職場の同僚が訪ねて来たり、知人の来訪や美容室に出かけたり、馴染みの関係が途切れないように支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>○職員は利用者の不安な気持ちをしっかりと受け止め基本理念に（仲良く楽しく暮らせるお手伝いをします）添い孤立しないで支え合うように努めて居ます。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>○グループホームから特養に行かれた方や病院に入院された方にはご家族を含め相談や支援を行っている。</p>		

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>○職員は利用者の視点に立ち考えたり抱えている課題について気づいた事を出し合い記録して処遇会議で検討している。</p> <p>○シートを活用し利用者の行動や思いの把握に努めている。職員は情報の共有に努めている。</p>	<p>一人ひとりとの会話の中から把握に努めている。職員は、処遇会議等で情報を共有している。困難な場合は、家族とも相談をしながら本人本位で検討をしている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>○日々の会話の中でそれとなくどの様な暮らしをされていたか聞いたりしますが過去の事には触れたくないと言われる方もいます。一番充実していた頃の話題から話しやすい雰囲気を作る</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		<ul style="list-style-type: none"> ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日の記録、引き継ぎ等から心身の状態活動状況生活リズムを総合的に把握している。 		
26	10	<ul style="list-style-type: none"> ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している 	<ul style="list-style-type: none"> ○アセスメントや事例概要課題検討で課題を明確にして職員間でも話し合いしている。以前の介護支援専門員や医師にも相談している。 ○6ヶ月毎に計画の見直しを行い、家族にもご意見をうかがっている。 	<p>毎月、モニタリングを行っている。本人・家族・医師・職員などで話し合いを行い、処遇会議で、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<ul style="list-style-type: none"> ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている 	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の記録引き継ぎで状態把握に努め変化が有れば話し合い、情報は共有して介護計画に生かしている。 		
28		<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ○本人や家族の意向を大切にして必要に応じて対応している。家族に代わる受診同行や外出援助を行っている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源との協働 <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>○外部からたんぽぽ弁当をとり、食事に変化をつけています。</p> <p>○外出してレストランでの食事もあります。近隣のソーメン流しの利用も有ります。地域の中で暮らしている事を実感できる</p>		
30	11	<ul style="list-style-type: none"> ○かかりつけ医の受診支援 <p>受診は、本人及び家族等の希望を大にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>○利用者ご家族の希望する医療機関で継続受診をしています。もしもご家族の都合がつかない場合は、職員の同行もしております。</p> <p>○居宅療養管理指導で定期的な往診を受けています。</p>	<p>ホーム利用前からのかかりつけ医の受診を支援している。主治医との連携を図りながら、利用者や家族が納得して適切な医療を受けられるように支援を行っている。</p>	
31		<ul style="list-style-type: none"> ○看護職員との協働 <p>介護職員は、日常の関わりの中でえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>○20年4月より医療連携加算を頂き、日常の健康管理に一生懸命取り組み職員も利用者の病気については専門的な意見を学びながら日常的に安心して働くことが出来ます。</p>		
32		<ul style="list-style-type: none"> ○入退院時の医療機関との協働 <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>○管理者、介護支援専門員、看護師は医療機関への情報提供を行い継続ケアや早期退院への支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	○契約時にホームで出来ること【重度化した場合の対応に係る指針】をご家族へ説明、状況に応じて家族の意向も看護師と聞く機会を設け本人に一番良いと思われる方向を決めている。	契約時に、本人・家族に、重度化した時の指針を説明し、方針を共有している。また、状況に応じて話し合いを行い、対応しながら支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	○緊急時や事故発生に備えマニュアルを作り、誤嚥時の初期対応救急車の要請など定期的に学習している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	○地域の消防署より避難訓練、通報練習、初期消火の実技訓練を年2回受けている。自主的にも行っている。隣近所には挨拶に伺い協力の約束を戴いている	年2回、昼・夜間想定の避難訓練を利用者と一緒にに行ってい。地域住民との協力・連絡体制もできている。災害時の食料や備蓄も準備されている。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	○職員会議、処遇会議で常にプライドを傷つけない言葉かけや態度について話し合いながら日々の仕事をしています。	利用者に対して、人生の先輩との思いで接しており、プライドを傷つけないように、言葉かけや対応に配慮しながらのケアに努めている。	
----	----	---	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	○ご利用者の意思を尊重して援助に心がけています。 ○お化粧、外出、外食、入浴、電話取り次ぎなど、また居室で趣味などをできるよう支援しています。		
37		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	○ご利用者の要望やその時の状態に合わせ活動の声かけをしている。外出希望も平等に成るよう努めている。		
38		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	○パーマカットなど外出できない時はホームでカットしたり、季節に合わせ衣服等の購入など、ご本人に合わせた支援をしております。		
39		○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	○いつも食事が美味しいと言ってくださいます。時には好物を聞いて一緒に料理を作ったりします。	職員は利用者と一緒に菜園の野菜を採取したり、料理を作ったりしている。また、利用者の嗜好を聞き、食事形態の配慮を行いながら、食事が楽しみなものになるように支援を行っている。	
40	15				

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	○毎食事量のチェック形状の工夫補食の提供を行い個別に対応している。 ○水分の摂取量のチェック、時間を決めて支援入浴後など水分補給に努めている、お茶コーヒーなど好きな物を飲んで頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	○出来る方には自分でして貰い出来ない方は個人の能力に応じて出来ない部分を支援。義歯の方は夜間消毒しながら個人のケースに保管。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	○排泄チェック表を活用しながら排泄の時間を把握し、昼間夜間の状態に合わせ失禁パンツ・リハビリパンツの使い分けをしている。時間誘導やこえかけをしている。また医師・看護師にも相談をし、緩下剤の使用もあります。	一人ひとりの排泄パターンを把握しながら、リハビリパンツ・失禁パンツを昼夜間で使い分けている。時間と利用者の様子を見ながらトイレ誘導を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	○排便チェックして排便が無い日が続くことの無いようにしている。また食事方法によって便秘予防を心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>○個人の希望に合わせ時間の調整をしています。</p> <p>○利用者の能力に応じた入浴支援をしている。自分でされる方も居り見守りをしています</p>	<p>入浴は自由に希望に応じて、毎日や朝・夕方の時間等に入浴支援を行っている。また、利用者の能力に応じて介助や見守りを行い、入浴が楽しめるように支援している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>○生活のリズムが出来るように昼夜の更衣を支援している。日中の様々な活動の中で快い疲れで安眠できるように又適切な室温にも気配りしています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>○服薬については看護師より適切な助言を貰い名前確認手渡し確実に服用するまで見届ける。病院からの情報、薬局からの情報を職員は確認し目的と副作用についても周知している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>○カラオケを楽しんだり、新聞を読むのを日課にされている方がいます。また仕事面では能力に応じ洗濯物たたみ、居室の清掃等を支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>○季節の行事美味しい食べ歩きドライブお買い物などバスで行ったり個別に行ったり時には墓参りなど家族と一緒に行く機会も作り出かけている。</p>	<p>日常的に一人ひとりの希望に沿って散歩や買い物に出かけたり、また、毎月、ピクニックや花見・水族館・外食等にも出かけている。家族と一緒に外出の利用者もいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>○本人の希望でお小遣いを持っています。皆さんお金の大切な事は十分分かっており必要以外の物は使いません。買い物は職員同行です。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>○携帯電話を持ち自由に使う方も居ます。お友達に手紙を書き近況を知らせ合ってる方も居ます。電話の利用取り次ぎは自由に出来ます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	○一步中に入ったら台所やホール〔食堂も兼ねる〕全体が見えて安心できる。畳の間にテレビもあり、語らいの場にもなっています。 ○玄関入り口には季節の花が飾られ壁画も季節感を感じられるように工夫している。トイレ浴室など水回りは汚れやすいことを職員は理解し常に清潔に心がけている。	ホームの入り口には、季節の草花が植えてあり、玄関に生花、壁には季節の飾り付けがある。台所からは、リビングや畳の間の様子がわかり、安心できる空間になっている。また、畳の間には、テレビやコタツがあり、利用者間の語らいの場になってしまっており、居心地のよい共用空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いで過ごせるような居場所の工夫をしている	○ホール内にはタタミの間もあり、気の合った利用者同士思い思いで過ごしている。時には職員と雑談等にも講じています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	○ご家族は使い慣れた物や色々有った方が落ち着くのではと持つてこられます。ドアには暖簾もかけてありプライバシーにも配慮し、居心地良く過ごせるように工夫しています。	居室の入り口には、手作りの表札、暖簾がかけてあり、テレビ・ラジオカセット・椅子・ソファー・家族写真等、利用者が居心地よく過ごせるように工夫がされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>○自立支援を目標に利用者の力に応じ声掛け、寄り添いながら見守りなど常に安全を優先して個別に対応している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目 : 36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	3 家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	2 数日に 1 回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない